まごころ

第56号
発行日　平成２５年６月１日
発　行　星が丘地区社会福祉協議会
相模原市中央区星が丘3-1-38
星が丘公民館内
TEL ０４２－７５５－９９５５
編　集　広報紙編集委員会

就任のごあいさつ

星が丘地区社会福祉協議会　会長　**坂本洋三**

このたび、星が丘地区社会福祉協議会の会長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いであります。微力ではありますが、全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願い申しあげます。

来年四月には当協議会が昭和五十九年に設立されて満三十年を迎えます。この間、諸先輩の皆様方が星が丘公民館を活動拠点に、地区敬老事業、各種募金活動、高齢者のためのいきいきサロンや、若い母親のための子育てサロンの運営、児童福祉事業、福祉バザーの実施等々、さまざまな活動を地道に展開されてきた結果、「住民の福祉の増進を図る」という目的は、見事に達成されたのではないかと心より称賛をいたしております。

こうした良き伝統をしっかり受け継ぎながら更なる発展を築いていく事が、私に課せられた使命だと思っています。

そのためには、まず何といっても地域に於ける社会福祉活動の担い手を、いかに育成しいかに増加せしめてゆくかという事が大切であると考えています。

この目標を実現するために、今後、皆様方のさまざまな御協力を仰ぎながら、あらゆる試みに粘り強く挑戦をしていきたいと、強く決意しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

六年間を振り返って

星が丘地区社会福祉協議会　前会長　**野中敬一**

星が丘地区の皆様には大変お世話になりありがとうございました。市民会館で行われていました敬老会が平成二十三年から地区開催となり、星が丘は地区社協が中心となって実施するようになりました。公民館の大会議室で映画鑑賞・津軽三味線・箏（こと）などの演奏が行われました。七十七歳以上全員にお菓子を、特別な年令者には市からのお祝い金を地区社協の委員である民生員が市長からのお祝いのメッセージと共に直接お届けしてお祝いいたしました。理事以外の自治会長は地区社協の委員となり、福祉バザーを大いに盛り上げていただきました。

会長の職は離れますが、これからも地区の発展を陰ながら見守り続けていきたいと思っています。

25年度の役員を紹介します

会　長　坂本洋三（自治会連合会）【写真前中央】
副会長　竹田幹夫（自治会連合会）【写真後右】
〃　鈴木末廣（福祉経験者）【写真後左】
〃　杉崎正子（福祉経験者）【写真前左】
会　計　吉川順一（※民児協）【写真後中】
〃　内田涼子（※民児協）【写真前右】

※民児協とは民生・児童委員協議会の略です

平成２５年度も敬老会、バザーを実施

平成２５年４月２３日自治会長、民生・児童委員を始めとする星が丘地区の社会福祉に関係する団体等の皆様が集まって定期総会が行われ、平成２４年度事業結果及び決算の報告や平成２５年度役員等の人事、事業計画及び予算が承認されました。

平成２５年度の主な事業計画について次の通り報告いたします。

なお、事業を進めるに当たって必要な経費は皆様からご支援ご寄付をいただいた市社協賛助会費、共同募金、日赤募金及びバザー売上金等を活用します。実施事業の日程等につきましては、地域情報紙等をご覧ください。

１　地区敬老事業　　（９月実施予定）
昨年と同様に星が丘地区として敬老祝い品の配布や鑑賞型イベントを開催予定。

２　福祉バザーの開催　（１０月実施）
今年度は星が丘地区ふれあいフェスティバルに合わせて開催。

３　みんなのつどい事業
ものづくりイベント、グラウンドゴルフ大会、映画会の開催。

子育てサロン・いきいきサロンの開催。

福祉学習会
福祉に関する勉強会

募金運動

５月～６月	日赤社員増強運動の協力
７月～８月	市社協 賛助会員募集
10月～12月	赤い羽根 街頭募金、共同募金の協力

日赤社員増強運動にご協力ありがとうございます

自治会の担当の方が訪問し社資（寄付）を募ります。

使いみちは？

・災害救援活動・健康、安全事業（講習会）・国際活動
・医療事業・赤十字奉仕団・青年赤十字・社会福祉事業
・血液事業・看護師の養成　等に活かされます。

事務局

市社協　永井

推進員　内田（地区社協全般 民児協担当）

支援員　楠野（広報・募金・サロン　担当）

真心をこめて伝えます

２５年度広報紙編集委員を紹介します

左から 奥山委員（公民館）、 森委員（障害者施設）
内田委員（民生･児童委員）、大箭委員（青少年指導員）
奥山委員（星小ＰＴＡ）鈴木委員長（福祉経験者）

市社協賛助会員を募集しています

ご協力いただいた一般賛助会費の３割と特別賛助の８割は星が丘地区社協で活用されています。主な使い道は、上に紹介した事業のほか、福祉活動団体への助成や本広報紙「まごころ」の発行です。

24年度は1,012,600円の会費をいただき、星が丘地区社協には496,780円が還元されました。

一般賛助会員　年間（一口）　200円
特別賛助会員　年間（一口）　1,000円

皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。

ありがとうございました

福祉を考える会「ゆずり葉」から寄付金をいただきました。

金　四七、六六二円

「ゆずり葉」は平成４年11月に結成され、「お茶べり会」を中心に、民間ボランティア協力や様々な活動をされてきました。会員の高齢化に伴い平成25年４月に会は発展的な解散となりましたが個々の活動はされるそうです。

編集後記

まごころ第56号を発行するにあたり次のことを記します。

その一　坂本会長をはじめとする新たな役員、理事、及び委員での新体制がスタートしました。このメンバーで平成25と26年度の２年間、星が丘地区社協の目的であります〝ゆとりとふれあいを豊かにするまちづくり〟を進めることとなります。

その二　皆様に愛読されています本広報紙「まごころ」を今までの10、３月の年２回の単色発行から６、10、３月の年３回のカラー印刷へとグレードアップして、時期を逃さないタイムリーな発行が出来るようになりました。

広報紙編集委員会では今後とも、皆様が発行を心待ちしていただけるような紙面作りをして参りますのでご期待下さい。

Ｓ・Ｓ